

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

【服のチカラプロジェクトとは??】

「難民に服を届ける活動」です

ファーストリテイリング(ユニクロ・ジーユー)・UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともにあらゆる人が、平等に生きられる世界を作るということを目標に取り組むプログラムです。学校や地域で着なくなった子ども服を回収して、難民などの服を必要とする人々に届けるという活動です。



【第一学院高等学校「服のチカラ」プロジェクトチームの取り組み】

第一学院高校では、一人ひとりの身近にある課題、そして地域や社会の課題など様々な課題を発見し、その解決にチャレンジする、「プロジェクト型学習(PBL)」を実施しています。発見した課題の解決にとどまらず、キャンパスの仲間や地域の方々とのコミュニケーションによる対人関係能力の向上にも重点を置く(SEL)のが第一学院高校のプロジェクト型学習の特色です。身近な人たちとの課題解決に向けたコミュニケーションを通して、現代社会で求められる「自ら考え解決する力」「協働で問題を解決する心」を身に付けます。



今回のこのプロジェクトでは、生徒たちが自ら一人でも多くの難民の子どもたちに「服を届ける」には、どうすれば良いかを考え行動しています。その結果、学校内だけではなく、地域の幼稚園や保育園などに自ら電話連絡し協力の依頼をしています。また、子ども達の興味を引けるよう、段ボールを服の形や電車、家、ロケットなどカラフルな形の回収BOXを作成しました。『小さな子供であっても誰が見ても「服」とわかるボックスを作りたい。』『「服」が世界中で繋がっていく様子をポスターで伝えたい!』など生徒たちの思いがこもっています。

今回のプロジェクトでは、服を通して少しでも多くの人に難民や貧困問題などに興味を持ってもらえればと考えています。できるところから始めていき、その輪が少しでも多くの人に伝わってほしいと願い取り組んでいます。

第一学院高等学校「服のチカラ」プロジェクトチーム



**「服」に困っている世界の子供たちのために
あなたの着なくなった服が、子ども達の幸福に繋がります**

回収対象：赤ちゃん用～160cm(子ども服), 洗濯されたもの)

迷彩・武器・ドクロ・血液の柄は回収不可 下着も回収不可

ボックス設置期限： 11 月 10 日まで

お問い合わせ：第一学院高等学校四日市キャンパス 059-350-1321